

国土の生産性と国土計画の役割

国土計画協会 国土計画に関する講演会
動画配信期間：令和6年8月13日～11月13日

中央大学経済学部 山崎朗
ayamasaki001b@g.chuo-u.ac.jp

➤ 講師略歴

□ 学歴

佐賀県立唐津東高校卒

京都大学工学部合成化学科（現・理工化学科）卒

九州大学大学院経済学研究科経済工学専攻博士課程修了

博士（経済学：九州大学）

□ 経歴

九州大学経済学部助手

フェリス女学院大学文学講師（経済学）

滋賀大学経済学部助教授（経済地理学、産業経済論）

九州大学経済学研究院教授（産業配置）＜経営学科長＞

中央大学経済学部教授（地域システム）＜元経済学部長兼理事＞

中央大学評議員

□ 学会

産業学会・元会長

地域デザイン学会・理事

経済地理学会・関東支部支部長

□ 主な社会的活動

首都圏ハブ空港研究会座長（JAPIC）

国際コンテナ戦略港湾委員会委員（国土交通省）

福岡アジア都市研究所企画委員会委員

国土審議会政策部会委員（国土交通省）

科学技術振興機構（JST）主監（産業クラスター）



➤低下する日本のランキングと競争力

□日本の国際ランキング

- ・ 2022年 1人当たり労働生産性 30位 (OECD38カ国)
- ・ 2023年 1人当たり名目GDP 32位 (IMF)
- ・ 2023年 国際競争力ランキング 38位 (IMD) ←1989年1位
- ・ 2022年 貿易依存度 163位 (UNCTAD)
- ・ 2022年 日本のGDP 世界の4.2%←1995年17.6%

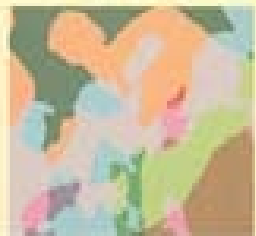
□産業競争力の喪失

- ・ 農林水産物・食品の貿易赤字拡大
- ・ デジタル赤字の拡大
- ・ 医療機器・医薬品の貿易赤字拡大

日本の国土計画と 地域開発

ハイ・モビリティ対応の経済発展と空間構造

山崎 朗



国土計画の
意義・役割・機能!

ポスト・コロナ時代の経済発展戦略
社会資本の蓄積・社会的包摂のあり方
国土計画の意義・役割と機能

➤ 国土計画の長期性と総合性

□ 国土計画の役割の変容

- ・ 急性 ⇄ 慢性 ・ 不確実性 ・ 持続可能性
- ・ 総合 ≠ 統合（コネクティビティ）
- ・ 地政学（防衛、食料・エネルギー、グローバルサプライチェーン）

□ 未来を読み解く視点

- ・ 人口
- ・ 産業構造
- ・ モビリティ < 時間距離 > < 距離の絶滅 >
- ・ AI
- ・ 金融

➤ 国土計画に内包されている矛盾

□ 国土の均衡ある発展

- ・ステイクホルダーの多さ
→多面的配慮→美しいデコレーション (ex.多極分散型国土構造)
- ・**発展による「国土の均衡ある発展」へ**

□ 上位計画性

- ・下位計画体系：「基本とする」
- ・経済計画からの自立
- ・均衡重視へのシフト (東京圏の人口社会増減0など)

□ 土地利用の予測 (国土利用計画)

- ・国単位→ブロック別・メッシュ単位
- ・農地面積の縮小トレンド←計画では増加
- ・戦略的国土利用

➤ 国土計画の策定過程

□ 未来予測

- 国土の長期展望
- バックキャストイング
- 総合「調整」

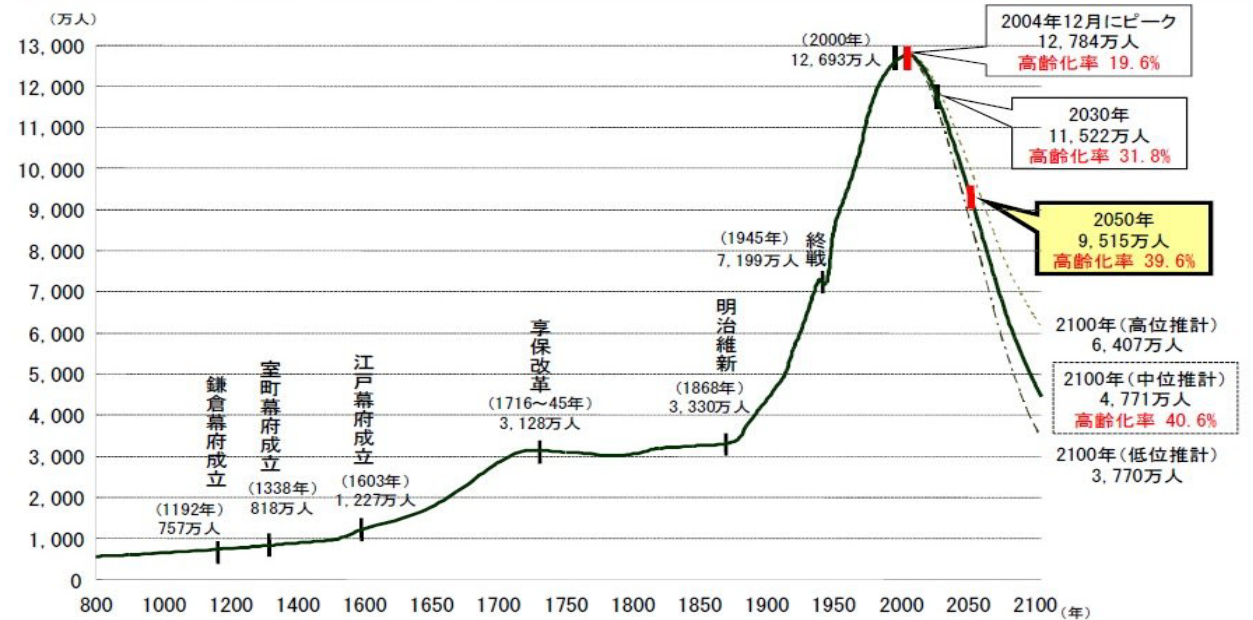
□ 計画化 ⇄ ビジョン ⇄ 戦略

- 下位計画
- 数値目標
- 評価

c.f. National Spatial Strategy

我が国の人口は長期的には急減する局面に

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく。この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



(出所) <https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001377610.pdf>

➤ 国土の生産性 1

□ 経済発展とモビリティ

・ 経済発展 ≡ 空間克服

→ 蒸気機関 → 内燃機関 → 新幹線・リニア、ジェット、ロケット

→ 郵便 → 電報 → 電話 → インターネット

→ 道路 → 高速道路、標準軌、港湾（コンテナ）、**空港**

→ 輸送企業・通信企業

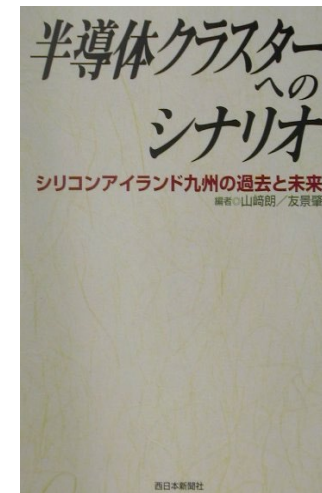
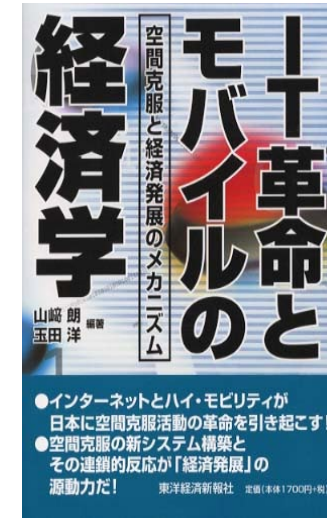
□ 産業クラスター

・ 製造品出荷額等 → イノベーション

・ イノベーションの源泉

・ 大学・研究機関

・ 輸出 ← 貿易赤字



➤ 国土の生産性 2

□ 土地利用

- ・ 農地の集約
- ・ 圃場整備
- ・ 経営規模拡大
- ・ 耕作放棄地の活用（飼料等）
- ・ 地籍の確定

□ コネクティビティ

- ・ 福岡空港国際線ターミナル＋地下鉄
- ・ 羽田空港＋リニア（新幹線）
- ・ 新潟空港＋新幹線
- ・ 静岡空港＋新幹線
- ・ 丘珠空港＋地下鉄

パラグ・カナ『移動力と接続性』2022年

第一の原則：地理が運命を決める

第二の原則：人口動態が運命を決める

第三の原則：接続性が運命を決める

第四の原則：移動力が運命を決める

では、私たちはなぜこの接続性を最大限に活用しよう
としないのだろうか？そうした集団慣性の原因は、物理的、
法的、そして心理的な「境界」にある。



➤ 国土戦略

□ 金融立国

- ・ 日本の個人金融資産 2,199兆円 (2023年)
- ・ 金融地域創生

□ 国土の末端の先端化 ≡ 国土の均衡ある発展

- ・ グローバル地域創生

□ 国防とモビリティ

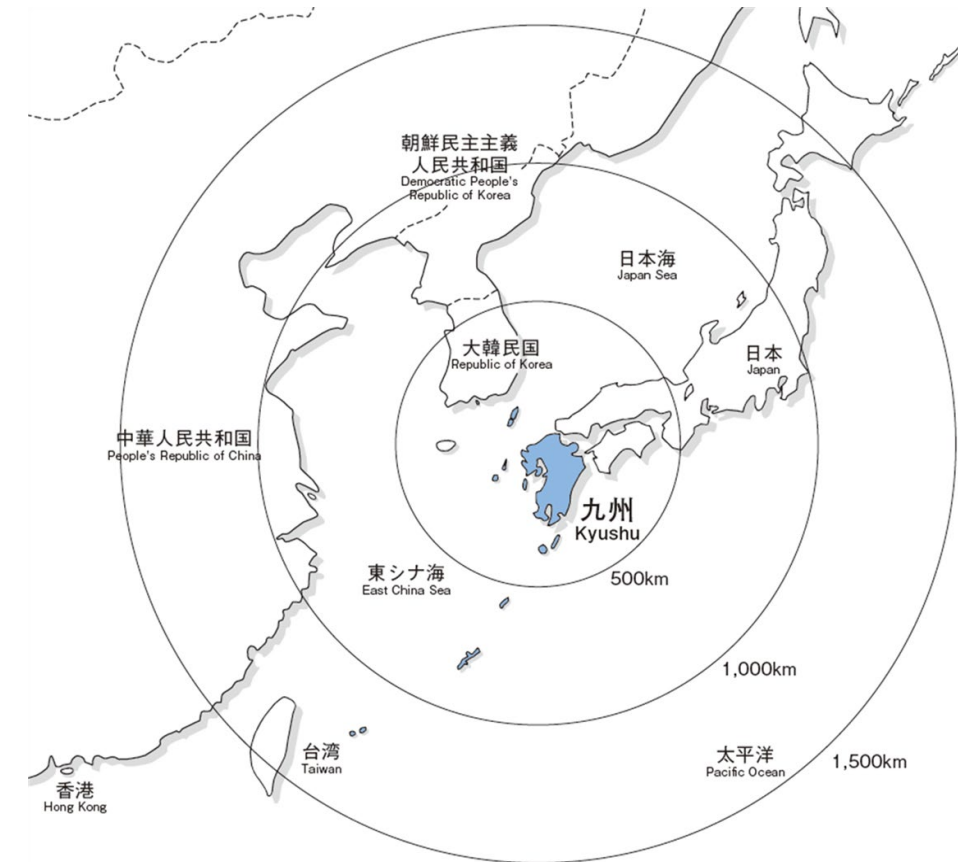
- ・ 離島空港とクルーズ船バース

□ 居住地域の縮小

- ・ 人口減少→世帯数減少→空き家増加
- ・ **サービス業存立の閾値上昇**

□ デジタル田園都市

- ・ 低密度居住地区における革命
- ・ **10万都市圏の広域化 ← 高速道路の高速化と無料化**
- ・ 中心と周辺 ← **複数都市圏への包摂**



➤ 参考文献

- 「都市と国土の生産性」『人と国土21』50(1) 2024年
- 「国土の計画と地域の計画」『地域開発』648 2024年
- 「貿易・海運立国へのシナリオ」『港湾』101(2) 2024年
- 「地域創生・モビリティ」『日経研月報』538 2024年
- 「危機の国土計画と国土計画の危機」『地域開発』643 2022年
- 「国土構造の未来」『改革者』748 2022年
- 「潜在能力の開花へ自立促せ 地方創生」『日本経済新聞』2020年10月23日朝刊
- 「融解・統合・マイクロ化時代の国土計画」『開発こうほう』686 2022年
- 「社会資本整備、産業政策と国土計画」『都市計画』237 2002年
- 「国土交通省の誕生と国土計画、広域圏計画」『新都市』2001年
- 「今後の国土計画の役割について」『人と国土21』27(2) 2001年
- 「国土計画の機能と地域開発」『土木学会誌』85 2000年
- 『日本の国土計画と地域開発』東洋経済新報社 1998年
- 「戦前の国土計画」『経済学研究（九州大学）』64(1/2) 1997年
- 「国土計画のパラダイム転換」『日本経済政策学会年報』45 1997年